

## ①協働的な学びについて

動画撮影後に元気な子をピックアップして、動画を紹介できていたのがよかった。

単語は言えていたけれど、どれくらい覚えるのですか。



単語練習は習う学年に色分けされている。表現したいことを言えるに比べ、友達の表現で単語も知る。ゲーム等で単語に親しむ。

よかった点

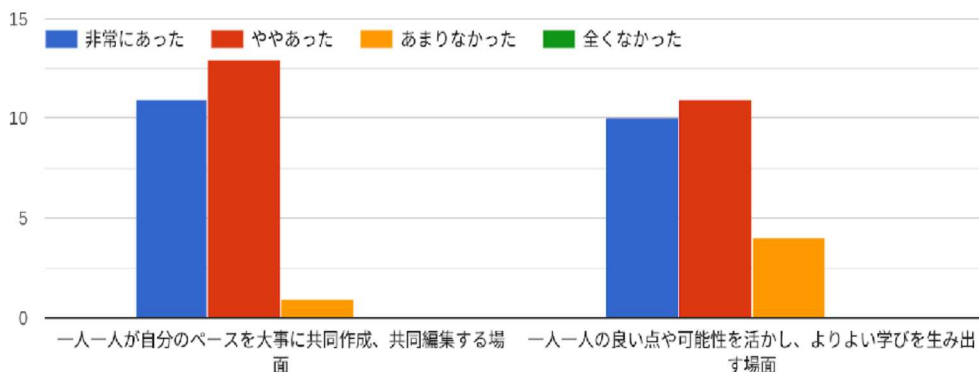
質問

質問の答え

改善案

その他

本時について、「協働的な学び」の以下の場面があったかお答えください。



動画をとりあうとき、「○○するといひよ」などのアドバイスをしている子を取り上げたり、事前にアドバイスを伝えるとよいことを言っておくとよかった。

### 【その理由】

よりよい発表にするために、撮影したあと、改善する時間がとれるとよかったと感じたから。

撮影の場面で他者の発表の仕方が参考になったと思う。

紹介動画の撮影

チャレンジタイムがあったから。

今回は「個別最適な学び」が中心だったので、協働的な学びはやや少なかったかと思います。

発表に使用する語彙を確かめる場面で、自然と児童同士が聴き合っていて、学習が深まっていたように思う。

あったとも、なかったとも思えませんので、とりあえずここにしました。

前時までに作成した学びを再確認することがとても有効であった。(共同制作したジャムボード)他者との対話につながる。

リハーサルタイムでは、友達とアドバイスをしあいながら準備を進める姿が見られた。

発表の練習の時に、お互いにアドバイスし合う事ができていた。

子供たちが意欲的に録画撮りを行っていた

日野市のおすすめの場所を考え、友達と協力して発表し撮影することができていた。

撮影された動画を振り返り、自己の課題に気づき、撮り直しをしていたから。

リハーサルや撮影の際に共同作成していた

Let's challengeでの個人学習や動画作成など

一人ひとりが自分なりに表現をして動画を撮っていたから

日野市の紹介動画を撮る前に、自分で確認できる時間が確保されていたのがよかった。

動画をとりあい、改善点を見つけて協力して活動に取り組んでいた。

導入で色々な課題を選ぶことができていたので。

詰め込み過ぎず、余裕をもってやっていて、よい意味で「普段通り」の感じで良かった。

動画撮影時にお互いに声を掛け合い、より良いものを作ろうとしている様子があった。

自分が決めた内容について各自が取り組んでいたから。

マップ作りというゴール設定がよかった。

友達同士で共に学び合う学習ができていたから

## 「協働的な学び」について

## ②個別最適な学びについて

よかった点

質問

質問の答え

改善案

その他

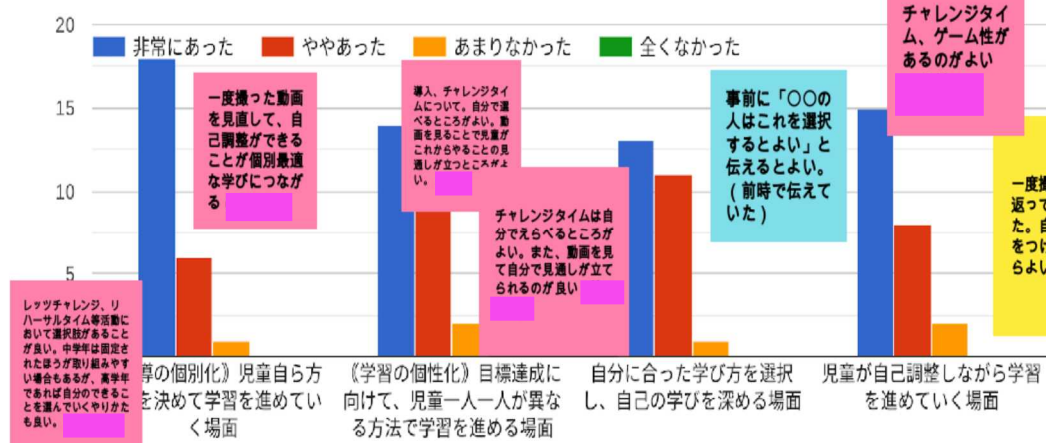
リフレクションシートは、次回使う予定はあるか。

次回、マップ完成後、みんなで見て、自分の発表について振り返りを追加する。また、ドライブレコーダー共有し、お互いの振り返りに対してコメントをする。

リフレクションシート、事前に今日の目指すところについて声をかけておいたところが児童に意識付けられてよい。タブレットを使うことで配布の手間もない。

リハーサルタイム、選択肢があることで児童ができるものにすぐ取り掛かることができる。

本時について、「個別最適な学び」の以下の場面があったかお答えください。



チャレンジタイム、ゲーム性があるのがよい

一度撮った動画を振り返って見た児童がいた。自分が選択する力をつけるにはどうしたらよいか。

チャレンジタイムのプリントづくりについて。一度作れば繰り返し使える。楽しみながら用意している。

### 【その理由】

自分にあった教材選びを自分で考えて選択することは効果に繋がる。

チャレンジタイムは、自分のレベルに合わせて選んで取り組んでいたから。発表練習のときに、動画などの選択肢があったから。自分で練習方法を選ぶなど、選択する場面がいくつもあった。また、動画を自分で見返して、もっと声を大きくしよう、身振り手振りを入れようとさらに工夫できる調整の場があった。

事前にかなりできていたので、この授業で上記のことを見取るのは難しかったです。できていたものを聴きあったり、録画し合ったりする活動で学習の深まりがあったように思う。

あった、なかったと割り切れないので

リハーサルタイムのときに、アナログデジタル両方で自分に合ったやり方で練習に取り組んでいた。

リフレクションカードの単元ごとの振り返りが有効である。自分の考えの再構築につながる。

英語への慣れ親しみができ、自信につながると思う。

チャレンジタイムでの個の時間。

Let's Challenge!で、自分にあった課題を選ぶことができていた。

児童が知っている(調べた?)英語を使って、伝えることができた

紹介する内容を考え、写真や絵などを見せながらするなど自分で考えて取り組むことができた。

目標達成に向けて、共通のやり方で学習を進めているように感じたから。

最初のプリントや振り返りなど、児童が個人で取り組む活動があった。

個人で選択して学習する場面や、リフレクションシートによる振り返りなどの工夫がされていた

リハーサルタイムで様々なやり方の選択肢をだしていた。

練習で5つのパターンを提示し、自分にあった練習を考えていたから。

導入で行った自分で選べる課題はよかった。

スプレッドシートを個人で確認し、自分が目指したいことや、やらなければならないことを見ることができていた。

クロムブックで自分の状況を視覚的に把握し、自分のペースに合った課題を選べることができていた。

動画は個々で工夫の余地があったため。

発表内容に自分で選べる「待ち」の部分があったり、自分の発表を再生して確認できたり、よいところが色々見られた。

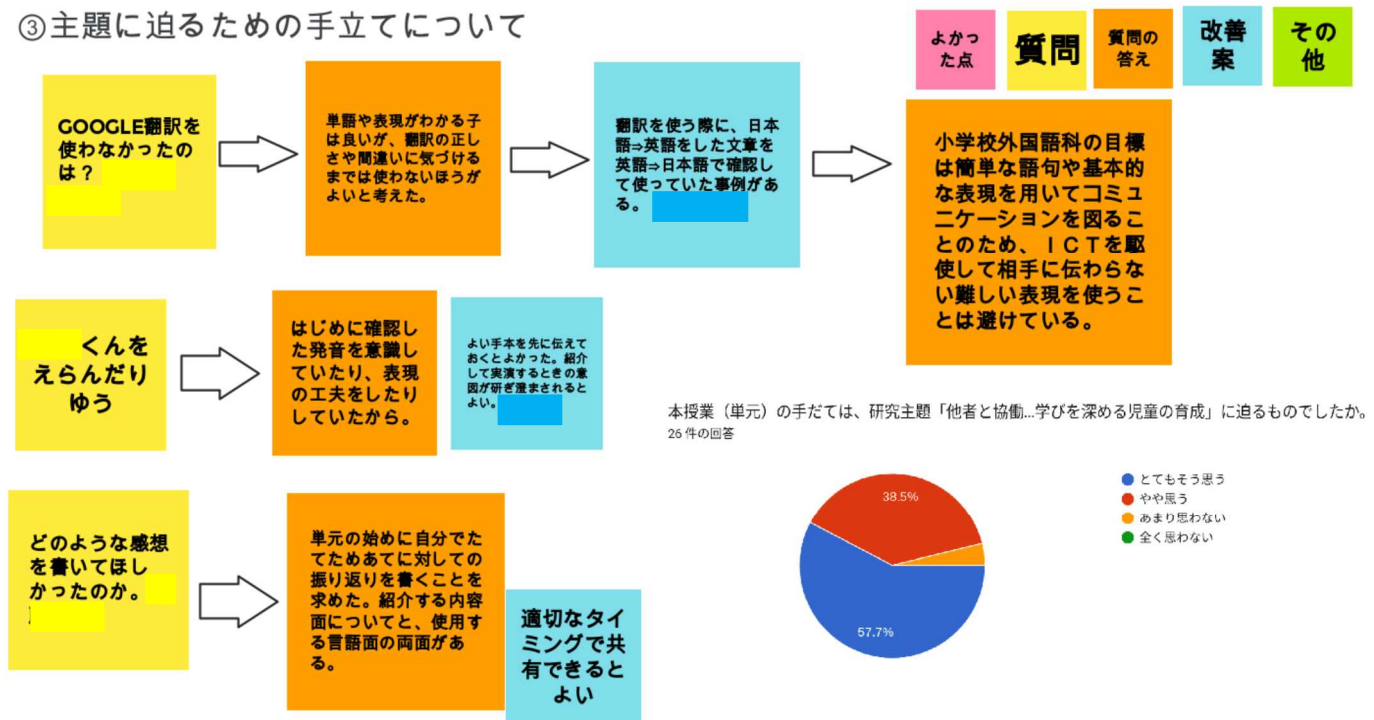
杉山先生が提示した5つの方法を使って、各自に合った学び方で進んでいた。

チャレンジタイムや、前回のがんばりたいことを振り返ってから学習を進めたことがよかった。

一人一人が自分のペースに合わせて学習できたから

「個別最適な学び」について

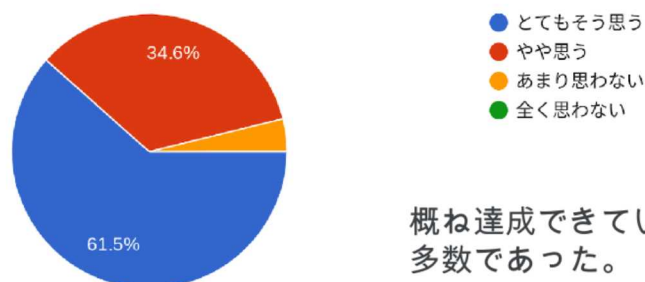
### ③主題に迫るための手立てについて



### ④教科としての学びについて

| よかった点 | 質問 | 質問の答え | 改善案 | その他 |
|-------|----|-------|-----|-----|
|-------|----|-------|-----|-----|

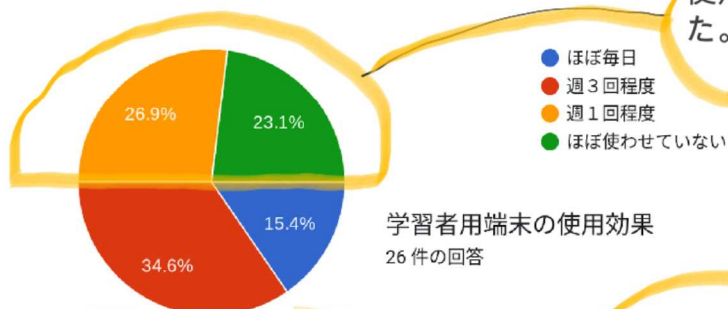
本授業（単元）は、教科の目標に迫るものでしたか。  
26件の回答



概ね達成できている、と回答が  
多数であった。

## ⑤ ICT活用について

児童の学習者用端末の授業内での活用頻度（タイピングは含まない）  
26件の回答

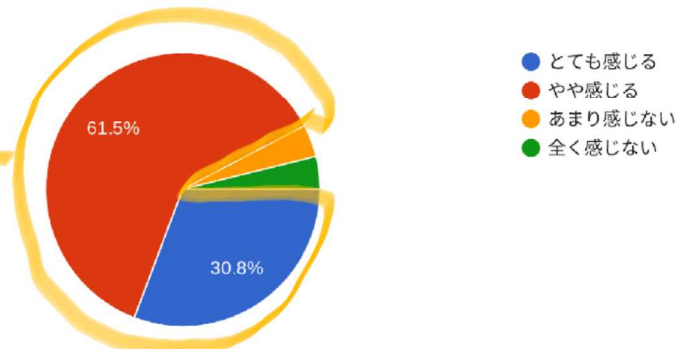


使用頻度が少ない先生が半数であった。

使用効果については、肯定的な意見が9割以上であった。

使用効果は感じているものの、使用頻度がまだ少ない先生もいる。今後効果的な使い方を共有することで、より効果的に使用できる場面を増やせるとよい。

学習者用端末の使用効果  
26件の回答



タブレットを使う学習も教科によっては効果的だが、手で書く授業も大切にしたい。  
意見の共有や係活動の充実  
ぱっと意見を共有できる。

ICTの効果的な活用  
の場面は？

全体に同じ画面を見せたいときに画面共有を使用すること。

グループで一つのを仕上げる際、メモとしてジャムボードを活用したとき。

調べ物をすぐにしたいとき

一人ひとりの状況に合わせて課題に取り組むことができる。（ミライシード）

視覚的に表示しやすい。

授業で出てきた自分の疑問やより詳しく知りたい際に、自分で調べる作業を手軽に調べられるのありがたい。

今のところミライシード

時短になる ぱっとシェアできる

意見をすぐに共有できる点

個人で学習を進める場面、考えを共有し深める場面。

調べる学習

他者との対話がしやすい。全員の意見を授業に活かすことができる。

ジャムボードでの表現、共有化

ジャムボードなどを活用すると、発言が苦手な児童も自分の考えを書くことができた。

日々の学習で常に使っていき、道具として活用できるようにしていくことが大事だと思う。

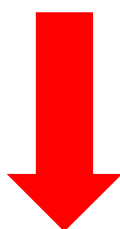
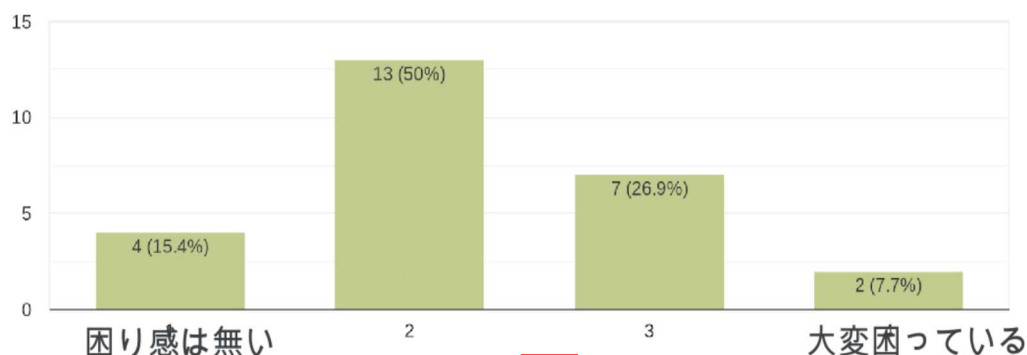
自己を振り返るために、毎時間書き溜めて行くことで視覚的にもわかりやすい。

個別での視覚化や、意見の共有など

クラスルームに掲示板の機能として、意見をシェアすること。例えば、今日良かったことを3点振り返りましょうなど

## ICT活用について

指導する上での困り感  
26件の回答



得意な子、不得意な子の差が大きい。

スプレッドシートなど去年2年生であり使っていないもの。

使わなければならないことへの強制。

スプレッドシートの設定の仕方など、技術的な能力が自分に足りない。

タブレットを使用しているの振り返りが難しい。(文字の入力)

教員自身が学習用端末を使いこなし、児童の疑問に答えられるようにしていくことが、私にとっての課題である。

様々な機能を指導する指導法や活動時間の確保など。

3年生だと、タイピングに時間がかかり、従来のワークシートの方が効率的な場面が多い

動画編集などの普段使わない機能をあらたに使おうとするとやはり抵抗感がある。フォームやジャムボードなどはかなり使えるようになってきた。

操作方法がわからなくなってしまうたり、急に動かなくなったりなどの機械トラブルが起きたときの対応が困ります。

2年生で使い始めたばかりなので、わからないこと(漢字が読めず、指示がわからない等)が多い点。それでも、子どもたちが頑張っているように思っている。

特にはないです。

私の場合ジャムボードすら使ったことがないので、そこからがスタート。

タブレットがなくても進められる内容で、どうすれば効果的に活用できるのか悩んでいる。いざ使おうと思っても普段児童に使わせていないと、作業に時間がかかりすぎてしまう。

タブレットを使った教材の活用方法について

自分の技能の低さ

## ICTの活用における 困り感